



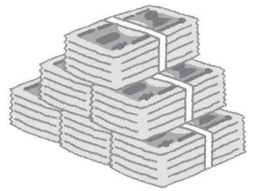
笠栄会

質問者

せのおひろゆき
妹尾博之議員

所属議員

おくのやすひさ
奥野泰久議員
やまもととしあき
山本俊明議員



財政運営における市長の基本姿勢を問う

議員 企業誘致による歳入の自主財源の増加を示してほしい。

市長 増収額は、平成28年度1,300万円、平成29年度1,500万円、平成30年度1,900万円、令和元年度は2,800万円を見込んでいます。

議員 自主財源が増えた主な要因は何か。

議員 自主財源が増えた主な要因は何か。

総務部長 主要因は、ふるさと納税による寄附、次に土地売却収入である。これらの臨時的な収入で経常経費を賄うことは、何年も続かないと危機感を持っている。

議員 企業誘致に伴う企業立地奨励金の28年度からの支出額をたずねる。

市長 支出額は、平成28年度1,438万円、平成29年度2,149万円、平成30年度3,887万円、令和元年度9,523万円となっている。

議員 奨励金等の支出増が財政負担となっているが、誘致に伴う増収効果が現れるのはいつか。

総務部長 企業立地奨励金等は、今後財政を圧迫していく。9、10年後には、財政運営が楽になると見通している。

議員 財政調整基金が減少している。赤信号の状態と思うがどうか。

総務部長 黄色信号の中で、事業の見直し、使用料・手数料等の見直しを行って支出を抑えていく。



日本共産党

質問者

いぎ まもる
井木 守議員

所属議員

ひのつ みちこ
樋之津倫子議員



ごみの減量と「燃やさない」ごみ処理への転換を

議員 笠岡市が分別、再資源化していないものも、分別・再資源化している自治体がある。分別品目を増やし、再資源化をする検討、努力をどの程度行ったのか。

市長 おむつの分別処理や生ごみの堆肥化処理などの導入を研究したが、技術的に最適な処理方法が確立されていないことや施設整備の問題等から導入には至っていない。

議員 徳島県上勝町は、ゼロ・ウェイスト宣言の町として「燃やさない」ごみ処理を目指している。

新たな清掃工場の建設は、市民に大きな負担を強いることになる。分別・再資源化を徹底し、ごみ処理の転換を図るべきである。

市民生活部長 上勝町は、町民をあげて目標を持って取り組んでいる。参考にしたい。井笠圏域の中でもいろいろ話していきたい。

太陽光発電の安全な設置と運営、普及

議員 県は、太陽光発電の安全な導入を促進する条例を制定した。市も独自に条例制定すべきである。

市長 条例施行後の運用状況等を注視し、本市の現状と照らし合わせながら今後も検証を行いたい。

議員 固定価格買取制度の期限が迫る中で、今後どのように太陽光発電を普及していくのか。

市民生活部長 環境基本計画では、太陽光を中心として再生可能エネルギーの推進を掲げている。蓄電池に対して補助制度を設けている自治体もある。研究してみたい。